

【令和7年度大学・地域共創プラットフォーム香川産学官共創チャレンジ事業】

「ダイバーシティ理系選択応援プロジェクト」

サイエンス展・サイエンスカフェ実施報告

日 時：2025年8月9日（土）13:00-17:00

8月10日（日）10:00-15:00

会 場：徳島文理大学高松駅キャンパス 10F・9F

参加者数：サイエンス展；大人・子供 993名 大学教職員42名・学生 51 名

サイエンスカフェ：高校生・保護者6名，大学生4名，大学教職員5名

8月9日（土）、10日（日）大学・地域共創プラットフォーム香川産学官共創チャレンジ事業の「だれでも科学者！ドキドキ実験☆ダイバーシティ・サイエンス展」を徳島文理大学高松駅キャンパスの9Fと10Fで、開催しました。

サイエンス展は、香川大学が9ブース（教育4・医1・農1・創造エ2・ダイバーシティ1）、徳島文理大学が3ブース（薬2・理工1）、協賛企業が3ブース、学校法人藤井学園藤井中学校が1ブース、香川大学の協定校であるブルネイ・ダルサラーム大学が1ブースの合計17ブースが開かれました。大盛況で順番を待ってもらうブースが続出しました。アンケートからは「丁寧に説明してくれてわかりやすかった」「小学生兄の夏休みの自由研究で困っていたのでとても助かりました」など好意的な意見がたくさん寄せられました。

その中の、“サイエンスがひらく未来のキャリア”は、香川大学ダイバーシティ推進室統括責任者の野口里美理事・副学長の挨拶で始まり、参加者は2つのグループに分かれてスタートしました。各グループには医学部又は教育学部（理科教育）の香川大学生が配置され、学部選択や勉強のコツ、理系及び理科分野の魅力や大学での過ごし方、将来の夢や進路などについて、参加者とのやりとりが続きしました。途中、学生がグループを交代し、最後は、MCの香川大学医学部塚本郁子名誉教授の挨拶で終了しました。参加者からは、「とても分かりやすく、近い距離感で話してくださって良い経験になった」（生徒）、「子どもにとって、将来の道を描いていくヒントになってくれたらいいなと感じた」（保護者）といった声が寄せられました。

